

琉球の仏教彫刻

— 木彫刻を中心に —



旧円覚寺文殊菩薩像



旧円覚寺白象座



模造復元品：旧円覚寺仁王像（阿形）

2023.

3.11 **土**

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって
中止や一部変更の可能性があります。
※ 会場内は空調の影響で冷えることがあります。

会場 3F 講堂

受付 当日先着順 (定員 200名)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1



←webサイトはこちらから

「500年前、沖縄は仏教王国だった」。これは沖縄仏教史研究者の知名定寛氏『琉球仏教史の研究』の冒頭の一文です。仏教寺院の運営には仏像や絵画、仏具などさまざまなモノを必要としました。琉球王国時代に多数の寺院が存在していたことは、沖縄県立博物館・美術館に梵鐘が多数展示されていることからもうかがえます。

仏教王国を支えた数多くの仏教美術作品が日本や中国から琉球に渡っていたことは意外に知られていません。また琉球の人たちによっても制作されてきました。不幸にも沖縄戦で失われた作品もありますが、仏教美術に関わる作品などを見ながら琉球文化のひとつとして仏教美術を紹介し、琉球・沖縄文化史の一端に触れてみたいと思います。



【講師】

はせ よういち

長谷 洋一 氏 (関西大学文学部教授)

1960年、奈良県生まれ。2006年より現職。専門は中・近世彫刻史。主著に『カラー版日本仏像史』(共著)。現在、琉球王国文化遺産集積・再興事業木彫部会監修委員。



＼ 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力を！ /

- ・当日発熱や体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
- ・マスクの着用、手指の消毒、健康状態の聞き取りにご協力ください。
- ・ご自宅にて検温をお願いいたします。

いつもご協力いただき、ありがとうございます。

あなたの沖縄に出会う
沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】 9:00-18:00 (金・土は 20:00 まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)